

会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■ 自然の機能を活かした多目的な解決手法としてのグリーンインフラに注力

三輪 隆(株式会社竹中工務店 技術研究所 リサーチフェロー)【企画・広報部会 幹事】

自然を活かした持続可能な都市の実現を目指す弊社のR&Dへの取組みと適用事例をご紹介します。

● グリーンインフラの研究開発フィールド「調の森 SHI-RA-BE™」を整備



レインスケープ®実証施設

- 竹中技術研究所(千葉県印西市)では、2019年のリニューアルで「調の森 SHI-RA-BE™」を整備し、雨水流出抑制技術レインスケープ®、鳥や昆虫のハビタット創出、在来草原再生、水生植物の生息域外保全、都市農業や都市養蜂の生態系サービスの実証等に取り組んでいます。
- 2019年10月25日の台風21号に伴う千葉県豪雨では、集水域2,500㎡に対する12時間降水量548㎡(降水量219mm)のうち、レインスケープ®部分で236㎡、集水域全体では363㎡を貯留浸透したことが確認されました。

● 既存の調整池を「多機能で心に触れる」池に改修(DIC川村記念美術館)



改修後の第二調整池©JUN MIYASHITA

- 千葉県佐倉市に1990年に開館した美術館の造成当初から設けられていた第二調整池を、雨水流出抑制機能は担保しつつ、自然の多機能性を活かして生物多様性保全やQOL向上にも資する水域へと改修しました。
- 改修では直立護岸を廃し緩傾斜とし、周囲の既存園路際まで池を拡張。在来の水生植物13種等を導入することで、水辺から樹林に至るエコトーンを創出し、多くの人や生きものが来訪する場となりました。

■ 茨城県守谷市と福山コンサルタントのグリーンインフラ推進の取り組み

長谷川 啓一(株式会社福山コンサルタント 地域・環境マネジメント事業部 課長)【技術部会 幹事】

茨城県の南西に位置する守谷市では、市と福山コンサルタントが官民包括連携協定を締結し、グリーンインフラを活用して地方創生を目指す取り組みを進めています。

● 守谷版グリーンインフラの基本理念：市内に残される里山の自然を地域の資本として活用



守谷 野鳥のみちの風景
ぜひ、一度お越しください

- プロジェクトの基本理念は、都心から電車で約30分のアクセス性が良いエリアでありながらも、市内に多く残される里山の自然を地域の資本として活用することにあります。
- 里山の自然をグリーンインフラとして活用し、魅力的な地域づくりを推進することで「住民の高齢化」「子育て環境の充実」「都市間競争力強化」といった、市の課題解決を目指しています。
- また、「民間資本活用」「ICT技術活用」もコンセプトとしています。

● 官民連携コンソーシアム「もりやグリーンインフラ推進協議会」による取り組み



Moriya Green Beer
売り上げの一部がGI資金になります

- 「もりやグリーンインフラ推進協議会」は、市と民間企業で構成されています。このコンソーシアムを中心に、市内のグリーンインフラの理念に基づくプロジェクトを次々に立ち上げていくことを狙っています。
- グリーンインフラの行政計画への位置づけや、個別事業計画への反映を進めつつ、【Moriya Green Beerの開発】、【国交省スマートシティモデル事業の立ち上げ】など、あらゆる市民層に興味を持ってもらえるような、ワクワクする取り組みを目指して進めています。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「[守谷市ホームページ：守谷版グリーンインフラの推進](https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/green/index.html)」
(<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/green/index.html>)

プラットフォームより

■第1回グリーンインフラ大賞の募集を開始！



[応募期間]
令和2年9月1日(火) ~
10月23日(金) 17:00
必着

- 今年から始まった記念すべき第1回目の表彰です！
- 取組の規模に関わらず、地域や個人で取り組まれているものもご応募ください！
- 応募いただいた取組事例、技術・手法は、プラットフォームにおいてグリーンインフラの普及・技術等を検討する上で活用させていただきます！
- 優れた取組事例は、広く情報発信いたします！

詳細はこちらから ▶▶▶ 「[グリーンインフラ取組事例、技術・手法の募集](https://gi-platform.com/project)」
(<https://gi-platform.com/project>)

■オンラインセミナーを開始！

[9月のセミナー] 企画・広報部会
[9/24(木)18:00~「横浜市におけるグリーンインフラの活用事例」
白田 吉徳氏 (横浜市)、津久井 敦士氏 (㈱三菱地所設計)
[9/28(月)18:00~「グリーンインフラと里山」
西廣 淳氏 (国立開発研究法人 国立環境研究所)

★10月は技術部会が企画するセミナーを開催します！

- グリーンインフラに関する取組等に関するオンラインセミナーが始まりました！(毎月開催予定)
- セミナーでは、視聴者の皆様からの質問に回答します！
- ※メールでの募集開始から数時間後には予約がいっぱいになりますので、申し込みはお早めに！(先着100名)
- ※開催したオンラインセミナーは録画し、翌月に会員専用サイトで配信いたします！

詳細はこちらから ▶▶▶ 「[オンラインセミナー](https://gi-platform.com/activity/online)」
(<https://gi-platform.com/activity/online>)

■今後の予定

●各専門部会の幹事会を開催します！

10月に企画・広報部会、技術部会、金融部会の幹事会を開催し、12月に開催予定の各専門部会の内容等について話し合いを行います。

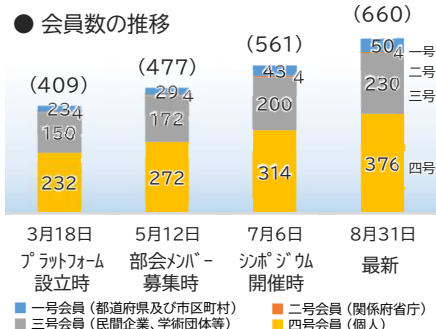
■会員情報 660人・団体(2020年8月31日時点)

●新たな一号会員

- ・北海道 札幌市
- ・福島県 郡山市
- ・東京都 大田区

●新たな三号会員(民間企業、学術団体等)

- ・株式会社エコシステム
- ・(一社)地域国土強靱化研究所
- ・株式会社三菱総合研究所
- ・日本工営株式会社
- ・NPO法人E2P-オー・フュージョン長池
- ・北造園株式会社
- ・NPO法人北九州ビオ・ネットワーク研究会
- ・日本建設技術株式会社
- ・セントラルコンサルタント株式会社
- ・株式会社おぎそ
- ・NPO法人ふくしま風景塾
- ・MS & A Dインターナショナル総研株式会社
- ・農事組合法人桃山町植木組合
- ・(一社)交通環境整備ネットワーク
- ・株式会社 office ma
- ・株式会社KRC
- ・(公財)かながわトラストみどり財団
- ・三和グランド株式会社
- ・株式会社新松戸造園



TOPICS

人物紹介

※グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します

○日本経済新聞社が主催する「地方創生フォーラム」において、「グリーンインフラ・地域循環共生圏で実現する地方創生」というテーマで、基調講演やパネルディスカッションが行われます。

【基調講演】

「風の谷プロジェクトとグリーンインフラの可能性」
安宅 和人氏 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

【パネルディスカッション】

「withコロナ時代の自然資本を生かした地域振興のあり方」
プラットフォーム会員の西田貴明氏、北栄階一氏、太田景子氏などがパネリスト等として登壇します。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「[【WEBライブ中継】日経地方創生フォーラム 地方創生 ～アフターコロナの新しい形～](https://events.nikkei.co.jp/29477/)」
(<https://events.nikkei.co.jp/29477/>)



福岡 孝則 (出身: 神奈川県 A型)

東京農業大学
地域環境科学部 造園科学科
准教授

企画・広報部会長の福岡です。「自然の力を活かした住みやすい都市・地域づくり」、グリーンインフラの実装の加速化に本気で取り組む人たちが自ら考え、動くプラットフォームを目指したいと思います。企画もどんどん展開します。皆様の積極的なご参加期待しています！

随時会員募集！
登録無料！
団体でも個人でも登録可！
今すぐ、左記サイトから登録を！！